

# 第31回 KTSM 実技セミナー in 宮崎 ②

## 開催報告

### ●開催概要

#### KTSM 実技セミナーご基本コース

「KT バランスチャートを用いた包括的食支援技術」

口腔ケア・姿勢調整・スクリーニング評価・実施手技・アセスメント・食事介助など

安全で効果的な口腔ケア，ベッドサイドスクリーニング評価，食事介助の基本的事項について知識と技術を習得し，実践の質を高めることを目的として開催．グループ毎にアドバイザーを配置し，演習を主体とした相互実習によるスキルアップ習得を目的とした．

会期：平成 28 年 7 月 23 日（土）ご12:55 ～ 17:00

会場：宮崎県立看護大学ご臨床看護実習室 I

参加者：62 名（他，見学者 8 名）

主催：口腔リハビリテーション研究会

共催：NPO 法人ご口から食べる幸せを守る会

協賛：社会福祉法人キャンパスの会

ごごご株式会社 明治

ごごご株式会社 カクイックス

後援：株式会社 クリニコ

株式会社 大塚製薬工場

ごごご日清オイリオグループ株式会社

ごごごキューピー株式会社

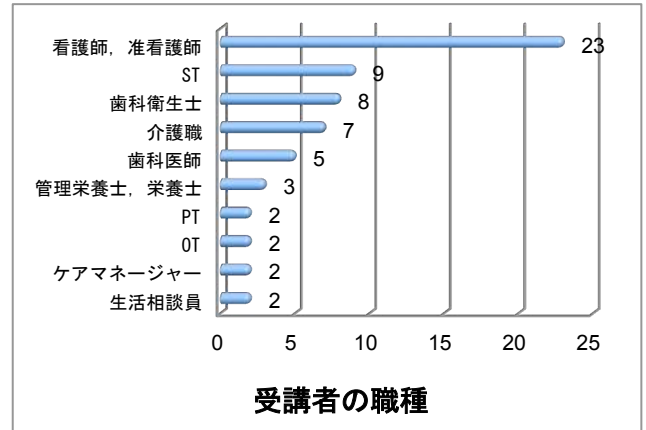
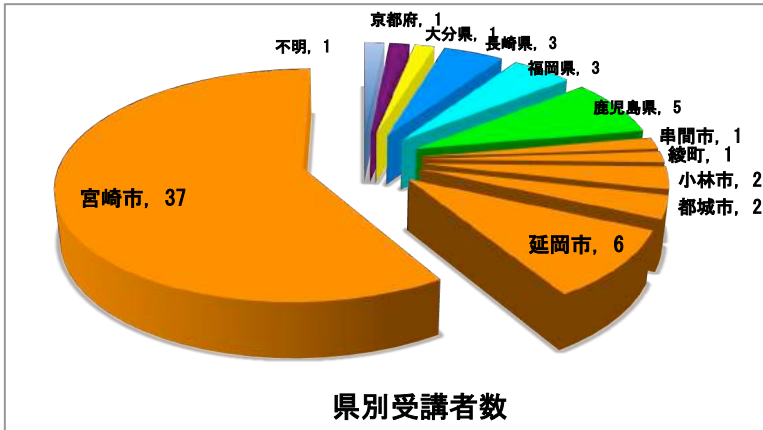
### ＜担当講師およびアドバイザー＞ごごごごごごごごごご

ごご 敬称略

氏名	所属	職種（摂食嚥下に関する資格）
小山 珠美	NPO 法人口から食べる幸せを守る会ご JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院	NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事長 看護師 （日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士）
竹市 美加	NPO 法人口から食べる幸せを守る会 ナチュラルスマイル西宮北口歯科ご	摂食・嚥下障害看護認定看護師 看護師 （日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士）
井野美穂子	熊本リハビリテーション病院	看護師
下田 加奈	JA 熊本厚生連病院ご	看護師
山下 裕史	熊本リハビリテーション病院	言語聴覚士 （日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士）
榎本 淳子	玉名地域保健医療センター	看護師，社会福祉士
安部 幸	社会医療法人ご帰巖会ごみえ病院ご	摂食・嚥下障害看護認定看護師
東 玲子	大分赤十字病院	摂食・嚥下障害看護認定看護師
加藤 節子	医療法人光風会ご北山病院ご	摂食・嚥下障害看護認定看護師
外山 慶一	潤和会記念病院ご 口腔リハビリテーション研究会ご	言語聴覚士 （日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士）
濱砂 昭子	訪問看護ステーションやわらぎご 口腔リハビリテーション研究会	摂食・嚥下障害看護認定看護師
伊豆元美恵	船塚クリニック 口腔リハビリテーション研究会	看護師
清山 美恵	アート歯科マツダ 口腔リハビリテーション研究会	歯科医師 （日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士）

●セミナーでの詳細

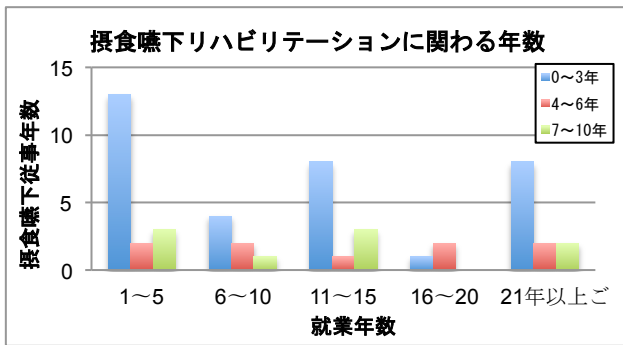
<受講者について>



前回（昨年，第16回実技セミナー）はほとんどが宮崎県からの参加者だったのに対し，遠方にもかかわらず，九州内の他県からも，また京都からも参加して頂いた．宮崎県内についても，さらに地域が拡大した．

職種としては，言語聴覚士（ST）の参加数が増えた．県内ばかりでなく，県外のSTの参加があり，情報の伝播や興味を持ってくれる人の拡大が見られたものと思われる．

受講はできなかったが，定員オーバーの方で希望のあった方には見学をしてもらった．見学者についても参加地域が拡大していた．



<摂食嚥下リハに関わっている年数>

業務キャリアの年数に関係なく，取り組んで間もない方が多く参加されていた．

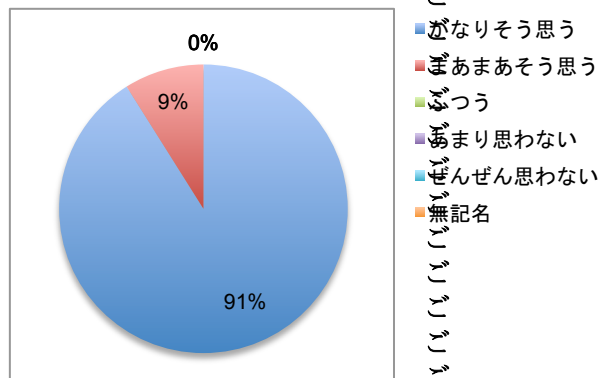
ご実際に，スクリーニング検査や食事介助を行う方はもちろん，実務はないものの，NSTのメンバーでごラウンドに活かしたい方も経験年数は短い方が多かった．また，ケアマネージャー・生活相談員

として従事されているため，普段の評価や実務はしていないが，担当している患者さんに介入が必要かどうかの判断材料に活かしたい，参加関係者に相談する材料にしたいと参加された．

今後は，各業種の中堅メンバーに興味を持って，実務に介入してもらえるようにするのが課題か．

<アンケート結果> （アンケートに記入されたものの中から，そのままの状態に記載した）

1) 本日のセミナーは，ご自身の口から食べる技術に関するスキルアップにつながりましたか? ご



2) 研修内容で特に印象に残った点は何ですか? ご

●スプーン操作に関してご

- ・特にスプーンの動きが印象に残りました．マットや枕，バスタオルのつかい方，人のみこむときのうごきについてすごく勉強になりました．小山先生，竹市先生の話もすごくわかりやすかったですご
- ・スプーンを口に持っていく時の向きまで考えていなかったご
- ・食事介助の際のスプーン的位置と食物の位置ご
- ・ゼリーのすくい方（バラけないよう）ごごごごご...など

●ポジショニングに関してご

- ・姿勢が大事だということ．支えがしっかりしているだけでも安心感が違いましたご
- ・ポジショニング（足のクッション，バスタオルの活用，車ご椅子坐位）の大切椅子坐位）の大切さ

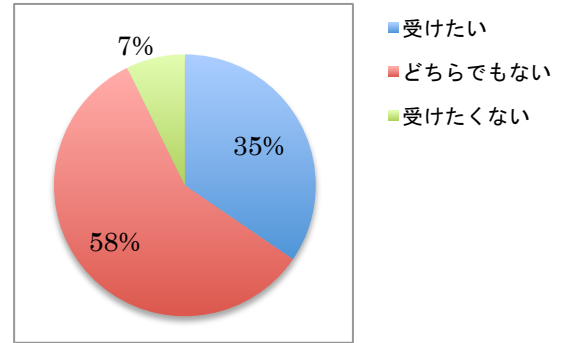
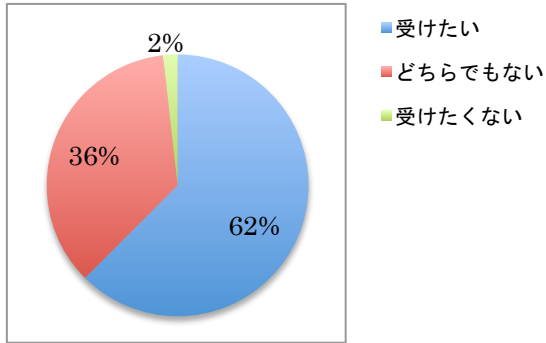


- ・慢性期療養型の病院で、全介助～一部介助の方が多いです。ほぼ全介助が多いです。時間もかかり、急いで介助したりとスタッフの焦りもあります。基本を知って、介助者のスキルを身につけていきたい
- ・ぜひ実践に活用してみたい。基本的なポイントと根拠が念頭にあれば疾患、制限等に関わらずあらゆる場面でできそう。だが、セミナーにくるということは、関心のある人が多いと考えられ、実際に病棟スタッフとチームで活用、という点では課題であると思う
- ・往診でうかがう施設は10か所以上にのぼります。今は治療で精一杯ですが、これから先、嚥下や食べることに関して相談を受けることが増えると思われるので
- ・自身の評価や介助。また、他職種への伝達

4) 今後、アドバンスコースを受講したいですか。ご

5) 今後、KTSM実技認定審査の受験を希望したいですか？

「」  
「」  
「」  
「」  
「」



### < 受講者からの意見（感想） >

- ・時間が短かったのもう少し長くできたらよかったです
- ・受講できて本当に良かったと思います。時間がもう少し欲しいと思いました。ありがとうございました
- ・もう少し実技を長く、繰り返し、いろいろな方と介助者役、患者役を何度も代わりながら行えたらと思います。準備や、実技のサポートも手厚く、素晴らしい研修会でした。Staffの皆様、ありがとうございました
- ・内容が多いので時間が足りていない、時間が足りなくて実践が充分できなかった
- ・遠方から来られる方もいらっしゃるの、研修は半日ではなく1日あるとよいと思います。鹿児島、福岡など遠方から来られる方は大変だったと思います。宮崎で開催していただけて本当にうれしく思います
- ・今回のセミナーをうけて知らない事ばかりで、受講して本当に良くてとても勉強になりました。実践する事ができて良かったです
- ・自分が思っている以上に「できる」ことを遮って全て行ってしまっていた部分があったので、できるものをしてもらって、できないことをサポートしていきたいと思いました。病棟や病院でのサポートチームで動いていきたいです
- ・失敗例もお聞きしたいです
- ・大変勉強になりました。今後、可能性をあきらめずに努力しようと思います
- ・私の仕事もそうですが、「ひとつひとつのステップ」の確認をしっかりとしないと、患者さんに多大なる損傷を与えてしまうと思いました
- ・重度心身障害児者への食事の支援について、患者さん個々の介助法を教えてくれる人材がいてくれたら嬉しいと思います。また、患者本人が美味しく楽しく安全に食事ができるよう、今後も学んでいけたらと思いました
- ・レベルの高さにびっくりしました。いかに食べることが大切か、問題が出てきたらそれはなぜか？対策を考え実行していくことが大事ということをお教いただきました。参加させていただいて良かったです、ありがとうございます
- ・今回のセミナーをうけて知らない事ばかりで、受講して本当に良くてとても勉強になりました。実践する事ができて良かったです

## <セミナー実技風景>

実技セミナー開始前に、小山先生、竹市先生、アドバイザー、アドバイザーアシスタント、ボランティア、学生ボランティア（宮崎県立看護大学学生さん9名）は、午前中早くに集合し、午後からのセミナー開始の準備、指導の復習に取り組んでいました。



小山先生、竹市先生、他アドバイザー、アドバイザーアシスタントの面々

受講者は、実技の前に、小山先生から講義を受けました。



アドバイザーも聴き入ってます！

講義風景

初めて聴くこと、これまでの認識と違うこと、大事なこと、臨床で活かせること、多くのことを聞けました！

そして、いざ！実際に、実技実習へ！！ご11グループに分かれて実技を受けました。



『頭抜き、背抜き、尻抜き、足抜き』ご

「ホジヨニングは普段やってないよねえ～」との声も！ その分、安定感を実感された参加者も多い印象。

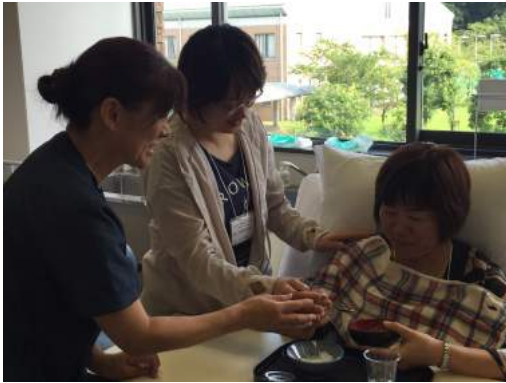


スクリーニング検査の方法ご



各グループで、アドバイザーにアドバイスもらう受講生たち。

ベッド上の食事介助を行いました。それぞれのリクライニング角度にも注意！



実技者も患者役も緊張中！？

次に！！ご車椅子での食事介助へ。





これまでは、自己流だったり、適当にしてしまっていたなあ…、と反省。

四肢の保持の仕方、身近にある道具を使った方法、食事・介助位置・保持の仕方などを学びました。  
車椅子でも、しっかりと環境を準備することで、患者さんはしっかり食べる体勢ができました！

「患者役になっていい経験したわ」「もっと（実技）したいあ」などの意見が聞かれました  
アッという間で、しかしとても充実した4時間ちょいでした！！



☞ 今回のセミナーでのアドバイザーと企画・運営をしました研究会世話人  
ご（KTSM 理事長ご小山珠美先生を囲んで）



受講者全員で！ご本当に、充実したセミナーでした！！ごありがとうございました！！

小山先生、竹市先生、熊本県、大分県、沖縄県からアドバイザーの皆様、施設使用のために数ヶ月準備に尽力下さった、宮崎県立看護大学教官中角助教、ボランティアとして機敏に動いて下さった宮崎県立看護大学の9名の学生さん、本当に本当にありがとうございました。